

グループ名	ユニット名等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学 期
選択科目	2 単位	国際経済学	永田長生	2 年次	秋

授業のキーワード	国際貿易の理論, 国際貿易政策
授業の概要・目的 及び修得させる知識・技能	国際経済学とは, 国々間の様々な経済取引に関する事象を分析・考察する経済学の一分野です。本講義では, このような広い意味での国際経済学のうち, 国際貿易論の理論的側面を中心に解説します。適宜, 実際の制度や現状にも触れながら, 国際貿易の諸問題を考察する際の理論的基礎を身につけてもらうことを目的とします。
履修のアドバイス・ 前提科目等	経済原論 I および中級ミクロ経済学を履修済みであること。

### 授 業 展 開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	授業概要とともに, 国際経済学とはどのような学問分野なのかについて解説します。	第 9 講	新しい貿易理論	国際貿易をめぐる新たな経済現象を受けて発展してきた, 新しい貿易の理論について解説します。
第 2 講	ミクロ経済学の復習	この授業を理解するために必要となるミクロ経済学の内容を簡単に復習します。	第 10 講	経済成長と貿易	一国で生じる経済成長が, その国や, その国の貿易相手国にどのような影響を与えるのかを説明します。
第 3 講	国際貿易のメカニズム	国際貿易の諸問題を分析する際にもっとも基本となる簡単なモデルを説明します。	第 11 講	生産要素の国 家間移動	生産要素が国々間を移動する経済学的なメカニズムと, 海外直接投資について解説します。
第 4 講	比較優位の理論	国際貿易に関する古典的な理論である比較優位の理論について解説します。	第 12 講	輸入関税の基礎理論	一国が輸入する財に対して関税をかけた場合, その国や, その国の貿易相手国にどのような影響が現れるのかを説明します。
第 5 講	新古典派の貿易理論 1	国際貿易に関する古典的な理論である新古典派の貿易理論について解説します。	第 13 講	貿易政策の手段	関税政策以外の貿易政策の手段に関して, その内容や政策効果について解説します。
第 6 講	新古典派の貿易理論 2	第 5 講の続きです。	第 14 講	保護貿易政策に関する議論	保護貿易に関する様々な主張やその問題点などを解説します。
第 7 講	ヘクシャー・オリーンの貿易理論 1	国際貿易に関する古典的な理論であるヘクシャー・オリーンの理論について解説します。	第 15 講	期末試験	試験の実施形態と出題形式については, 第 1 回の講義の際に説明します。
第 8 講	ヘクシャー・オリーンの貿易理論 2	第 7 講の続きです。	評 価 方 法		出席・平常点と期末試験の点数をもとに評価します。その比率は履修者数によって決定することにします。
備 考 (関連する資格・試験等)		経済学部への編入を考えている学生は, この授業を履修するとよいでしょう。			
使用する教科書 (必ず購入してください)			参 考 文 献		
浦田秀次郎『国際経済学入門』第 2 版, 日経文庫 2009 年			若杉隆平『国際経済学』第 3 版 岩波書店 2009 年 石川城太・菊地徹・椋寛『国際経済学をつかむ』有斐閣 2007 年		